



県全体で手足口病が警報レベルになりました



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↓ 24	38	百日咳	↓ 0	1
RSウイルス感染症	→ 0	0	ヘルパンギーナ	↑ 132	85
咽頭結膜熱	↓ 25	43	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↑ 18	17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓ 125	178	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↓ 440	466	流行性角結膜炎(はやり目)	↓ 8	15
水痘	↑ 20	10	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↑ 322	182	無菌性髄膜炎	↑ 2	0
伝染性紅斑(りんご病)	→ 0	0	マイコプラズマ肺炎	→ 1	1
突発性発疹	↓ 42	45	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→ 0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- 手足口病
- ヘルパンギーナ

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：菊池

感染性胃腸炎：有明

手足口病：菊池、八代、有明、宇城

ヘルパンギーナ：山鹿

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
1 熊本市保健所	7	0	16	52	98	10	77	0	10	0	35	6	0	6	0	2	1	0	0
2 山鹿保健所	0	0	0	4	29	0	2	0	0	0	16	1	0	0	0	0	0	0	0
3 菊池保健所	2	0	4	28	86	4	48	0	5	0	10	1	0	1	0	0	0	0	0
4 阿蘇保健所	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
5 御船保健所	0	0	0	1	31	0	6	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0
6 八代保健所	1	0	1	11	65	0	40	0	4	0	13	4	0	0	0	0	0	0	0
7 水俣保健所	0	0	0	2	0	0	4	0	1	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0
8 人吉保健所	0	0	0	3	3	3	0	0	6	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
9 有明保健所	0	0	1	16	73	2	117	0	11	0	21	3	0	0	0	0	0	0	0
10 宇城保健所	9	0	1	5	40	0	17	0	4	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0
11 天草保健所	5	0	2	3	12	0	11	0	1	0	20	0	0	1	0	0	0	0	0
計	24	0	25	125	440	20	322	0	42	0	132	18	0	8	0	2	1	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点年齢区分	合計	0-5歳	6-11歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ	24	0	0	1	0	2	1	1	5	1	3	0	5	0	1	1	2	1	0	0	0
小児科定点年齢区分	合計	0-5歳	6-11歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上						
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	25	0	5	10	4	2	1	0	0	1	0	1	1	0	0						
A群溶連菌咽頭炎	125	0	2	5	6	13	12	16	18	15	11	5	17	1	4						
感染性胃腸炎	440	5	28	79	53	36	36	16	20	29	14	19	56	8	41						
水痘	20	0	0	1	2	5	1	1	2	2	1	3	2	0	0						
手足口病	322	2	45	144	68	20	13	17	6	3	0	0	1	0	3						
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
突発性発疹	42	2	10	27	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	132	0	12	45	35	10	14	6	2	1	0	1	1	2	3						
流行性耳下腺炎	18	0	0	0	2	2	3	8	0	0	2	0	1	0	0						
眼科定点年齢区分	合計	0-5歳	6-11歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	8	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3	1	1	0	1	0	0
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

県全体で手足口病が警報レベルになりました

今週の手足口病の報告数は322件で、前週から140件増加し、手足口病が県全体で警報レベルとなりました。保健所別では、有明、八代、菊池、宇城が警報レベルとなっています。

手足口病は、5月頃から報告数が増加し、夏場に流行する傾向があります。近年、県内では2年おきに大きな流行がみられますが、昨年は大きな流行が見られず、全国の報告数も増加傾向ですので、特に、手足口病に注意が必要です。

**手足口病とは**

- ・症状は、手のひら、足の裏、おしり、口の中の粘膜に発疹が見られ、発熱を伴う場合があります。発疹は水疱性の発疹で周りが赤くなり、痛みを伴う場合があります。
- ・潜伏期間は、3～5日といわれています。1～5歳までの感染者が目立ちますが、成人でも感染します。

**感染経路**

- ・飛沫感染：咳やくしゃみ、つばなどのしぶきに含まれるウイルスにより感染します。
- ・経口・接触感染：水痘のなかみや便に排泄されたウイルスが口や眼などの粘膜に入って感染します。

**予防方法**

- ・せっけんを用いて、20秒以上の丁寧な手洗いを心がけましょう。
- ・タオルの共用はしないようにしましょう。
- ・排泄物(便など)は適切に処理しましょう。

